



24岡農共連第699号  
平成25年 2月13日

岡山県農業再生協議会  
会長 堀 川 進 殿

岡山県農業共済組合連合会  
会長理事 石 垣 正 夫



米穀の需給調整実施要領における飼料用米等の出来秋の  
出荷数量に係る改正についてのお願い（依頼）

平素より、農業共済事業の運営につきまして、格別なる御理解と御協力を賜り厚く  
お礼申し上げます。

さて、飼料用米等については、平成25年度より「一括管理方式による出荷」を基  
本とし、主食用として一般に生産されていない「多収性の専用品種」での取組に限り、  
「区分管理方式による出荷」とすることができると改正される見通しです。

今回の改正が、飼料用米等の生産に関し主食用米と区分して取り組むことを制限し  
ているわけではないこと、この改正により飼料用米等のほ場を特定しないとした場合、  
水稻共済の引受に当たって下記のような問題の発生が考えられることから、各地域農  
業再生協議会に対しまして、営農計画書における飼料用米等の取扱いについては、従  
来どおりほ場及び面積を特定して対応いただきますよう御協力願いたいと考えており  
ます。

つきましては、貴会より各地域農業再生協議会にお知らせいただき、御協力いた  
だきますようお願いいたします。

記

1. 主食用米とは補償単価が異なるため、飼料用米及び米粉用米の引受の確定が困  
難となること。
2. 仮にはほ場を特定しないとした場合には、飼料用米等の出荷契約数量等の割合で  
耕地ごとに面積按分する方法で引受せざるを得なくなることから、水稻共済の引  
受面積と戸別所得補償交付金の交付対象面積に差異が生じたり、水稻共済の損害  
評価にも支障がでる可能性があること。

